〈お願い〉

〈重 要〉ご使用の前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL 0570-004-155
受付時間：AM10:00〜PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

20-01 196-8N25-02

ベビー&チャイルドシート・ベッド

フラディア グロウ ISOFIX

Fladea grow ISOFIX

取扱説明書／保証書

体重2.5kgから18kgまでのお子さま用です。
ISOFIXバーを装備した車に使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

動画 取扱説明

QRコード

UN ECE-R44／04適合
準汎用型グループ0、グループ0+、グループⅠ、2.5kgから18kgまで。

ご使用前に〈P2〉
取り付ける前に〈P21〉
車への取り付け〈P38〉
横向きベッド〈P46〉
後向き〈P52〉
前向き〈P58〉
お手入れ〈P68〉

196-8N25-02

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて …… 2
保護者の方へのアドバイス …… 2
本書の表示について …… 2
取り付ける手順 …… 3
各部のなまえ …… 5
チャイルドシートの持ちかた …… 8
お子さまの条件 …… 9
座席の条件 …… 11
ご使用上の注意 …… 16
日常の点検 …… 20

取り付ける前に

レッグサポートの使いかた …… 21
デプスアジャスター(奥行き調節座面)の使いかた …… 22
回転のしかた …… 23
リクライニングのしかた(横向きベッド・後向きのみ) …… 25
肩ハーネス位置の目安 …… 27
肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)の調節のしかた …… 29
パッドの使いかた …… 30
フレックスシェードの使いかた …… 33

車への取り付け

取り付け準備 …… 38
取り付けかた …… 40
取り付け後の確認 …… 45

横向きベッド・後向き・前向き

横向きベッドにする …… 46
横向きベッドのお子さまの乗せかた …… 47
横向きベッド使用時の確認 …… 51
後向きのお子さまの乗せかた …… 52
後向き使用時の確認 …… 57
前向きにする …… 58
前向きのお子さまの乗せかた …… 59
前向き使用時の確認 …… 62
車からの取り外しかた …… 63

お手入れ

縫製品の洗いかた …… 68
シートカバーの取り外しかた
〈フラディア グロウ ISOFIX プレミアム／フラディア グロウ ISOFIX〉 …… 69
〈フラディア グロウ ISOFIX AC〉 …… 74
お手入れ／保管／廃棄のしかた …… 78

その他

困ったときには …… 79
保証について …… 81
アフターサービスについての連絡先 …… 82
MEMO …… 83
保証書 …… 86

ご使用前に

チャイルドシートについて

・チャイルドシートはISOFIXで車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

〈中古品のご使用について〉

・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な製品はご使用になれません。
・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

保護者の方へのアドバイス

・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。
・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

🚫 製品の取扱いにおける禁止行為です。

アドバイス 製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

取り付ける手順

・必ずお読みください。

ご使用前に
P2～P10

▼

車の座席を確認
P11～P15

▼

ご使用上の注意
P16～P19

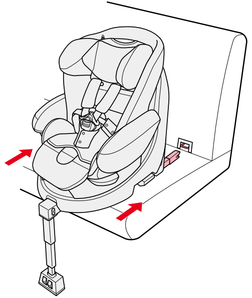
▼

取り付ける前に
P21～P37

▶

車への取り付け
P38～P45

・車への取り付け
・レッグサポートの調節
・取り付け後の確認



▶

お子さまの体重 2.5kg から 9kg 未満 ▶ **横向きベッド**
P46～P51

・横向きベッドにする
・お子さまを乗せる
・横向きベッド使用時の確認

お子さまの体重 首すわりから 13kg 未満 ▶ **後向き**
P52～P57

・お子さまを乗せる
・後向きにする
・後向き使用時の確認

お子さまの体重 9kg から 18kg まで ▶ **前向き**
P58～P62

・前向きにする
・お子さまを乗せる
・前向き使用時の確認

▶

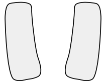
日常の点検
P20

各部のなまえ

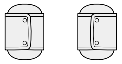
梱包内容 ・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈パッド〉（P30～P32参照）・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。

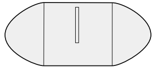
〈フラディア グロウ ISOFIX プレミアム〉



肩パッドカバー
（使いかたはP31参照）

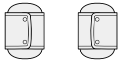


腰パッド
（使いかたはP32参照）



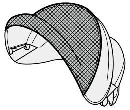
ヒップインナーシート
（使いかたはP32参照）

〈フラディア グロウ ISOFIX〉
〈フラディア グロウ ISOFIX AC〉

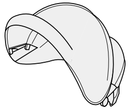


腰パッド
（使いかたはP32参照）

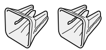
〈付属品〉



フレックスシェード プレミアム
（使いかたはP33参照）



フレックスシェード
（使いかたはP33参照）



ガイドキャップ（2個）
（使いかたはP40参照）

取扱説明書
（本書）

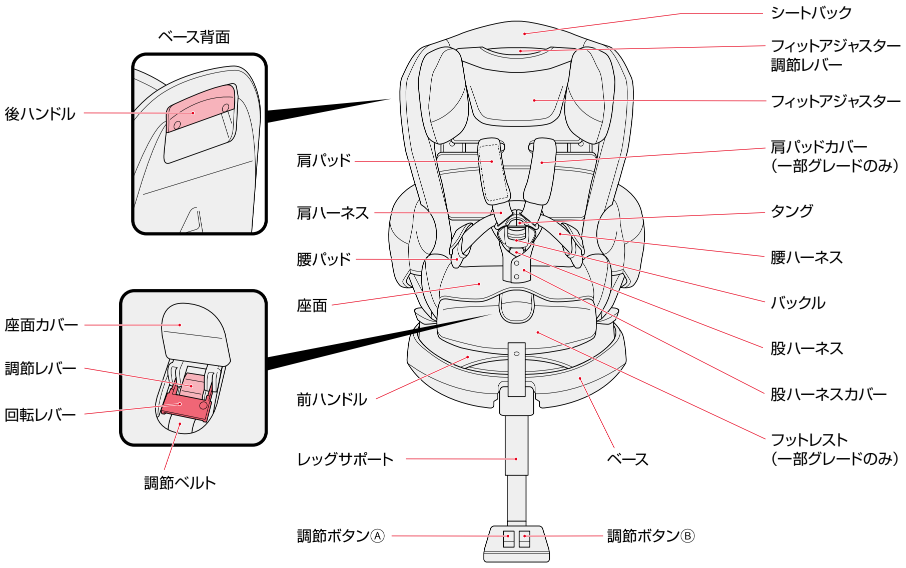
〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

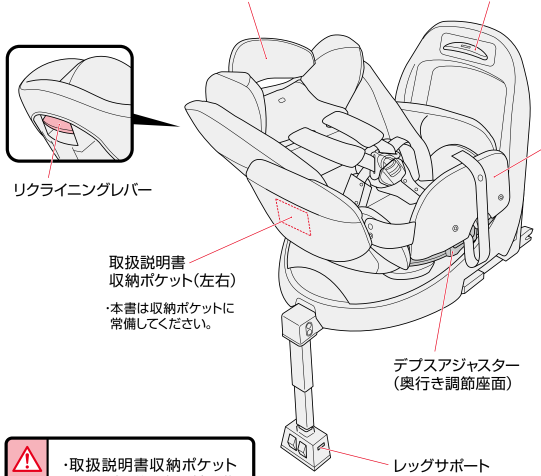
弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

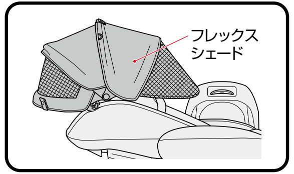
お客様情報登録

QRコード

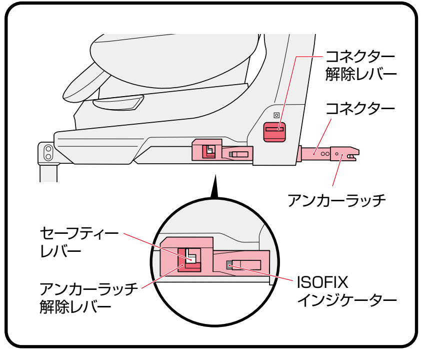


各部のなまえ





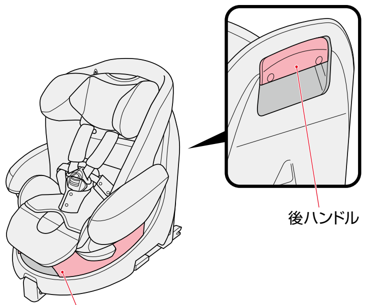
（エキストラシェード（メッシュ）は一部グレードのみ）



注意

・取扱説明書収納ポケットには取扱説明書以外の物は入れない。

チャイルドシートの持ちかた



前後のハンドルを両手でしっかり持つ。

警告

・ハンドル以外を持たない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

注意

・レッグサポートは固定されていません。持ち運びに注意してください。
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

お子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。

⚠危険 ・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの体重に合わせて、3通りの使いかたがあります。

体重2.5kgから9kg未満

参考年齢：新生児から1歳頃まで
参考身長：50cm〜70cm

〈横向きベッド〉

- **お子さまの足が座面からはみ出さないこと。**

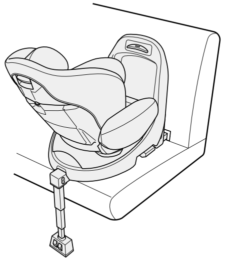
⚠警告 ・お子さまの足が座面からはみ出る場合は横向きベッドで使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。(P48参照)

首すわりから13kg未満

参考年齢：首すわりから1歳6カ月頃まで
参考身長：60cm〜80cm

〈後向き〉

- **首がすわっていること。**

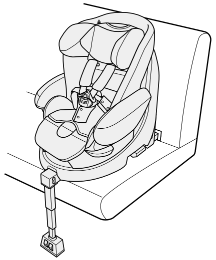


体重9kgから18kgまで

参考年齢：1歳頃から4歳頃まで
参考身長：70cm〜100cm

〈前向き〉

- **体重が9kg未満のお子さまは前向きでは使用できません。**



⚠警告 ・お子さまの体重が9kg未満の場合は前向きで使用しない。思わぬ重傷を負う可能性があります。

座席の条件

本製品はISOFIX幼児拘束装置です。ISOFIXバーを装備した車で一般的に使用するものとして、
UN ECE-R44/04に基づいて許可を受けています。

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席のある車に取り付けることができます。
ただし、ISOFIXチャイルドシートは、ISOFIXバーを装備した全ての車輌に取り付けられるものではありません。
必ず車種適合表でご確認ください。
車種適合につきましては、アップリカホームページ「https://www.aprica.jp/」で最新版がご覧になれます。

取付車種一覧表

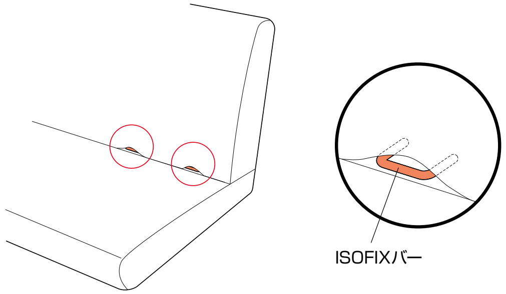
QRコード

お子さまの体重	質量グループ	カテゴリー	取り付け可能なサイズ等級	固定具
2.5kgから9kg未満	0	準汎用型（セミユニバーサル）	F/G	ISO/L1 ISO/L2
2.5kgから13kg未満	0+	準汎用型（セミユニバーサル）	C	ISO/R3
9kg以上から18kgまで	I	準汎用型（セミユニバーサル）	B1	ISO/F2X
			B	ISO/F2
			A	ISO/F3

1. チャイルドシートを取り付ける座席にISOFIXバーが装備されているかご確認ください。
2. 車種適合表で取り付け可能であること。

• ISOFIX バーについて

ISOFIXバーとは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車の背もたれと車の座席の間に装備された金具（バー）です。
車により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車の取扱説明書で確認してください。



座席の条件

〈使用時の注意点〉

適用範囲　質量グループと取り付けの規定

取り付け方法	グループ	体　重	参考身長
ISOFIX　横向きベッド	0	2.5kgから9kg未満	50cm〜70cm
ISOFIX　後向き	0+	首すわりから13kg未満	60cm〜80cm
ISOFIX　前向き	I	9kgから18kgまで	70cm〜100cm

・チャイルドシートは、体重2.5kgから18kgまで、またUN ECE-R44/04 基準により認定されたグループ0、グループ0+、グループⅠに適しており、お子さまを守るために異なったグループの必要に応じて3つの取り付け方法ができるようになっております。

1. チャイルドシートと取り付け具のカテゴリーに応じて認可されたISOFIX位置(詳しくは車の取扱説明書を参照)を有する車に適合します。
2. 本製品は横向きベッドでは質量グループ0、ISOFIXサイズ等級の「F／G」となります。
3. 本製品は後向きでは質量グループ0+、ISOFIXサイズ等級の「C」となります。
4. 本製品は前向きでは質量グループⅠ、ISOFIXサイズ等級の「B1／B／A」となります。

F／G

横向きベッドに取り付け時、この装置が該当するISOFIXサイズ等級は「F／G」です。

C

後向きに取り付け時、この装置が該当するISOFIXサイズ等級は「C」です。

B1／B／A

前向きに取り付け時、この装置が該当するISOFIXサイズ等級は「B1／B／A」です。

〈車への取り付け時の注意〉

車のシートにISOFIXバーが付いていることをご確認ください。なお車の取扱説明書で本製品が取り付け可能なサイズ等級に当たるかを確認し、ご使用ください。また本製品は「準汎用」カテゴリーに分類されています。お車が取り付け可能かどうかを取り付け一覧表などでご確認ください。

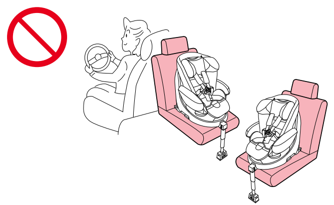
〈お奨めする取り付け座席の位置〉

・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。
ただし、フロントエアバッグが装備された座席に後向きで取り付けできません。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

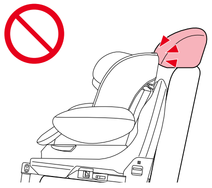
・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。
・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。

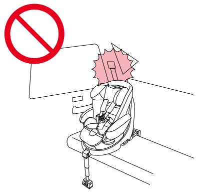


〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

・車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストがチャイルドシートのシートバックに干渉する座席。



・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。

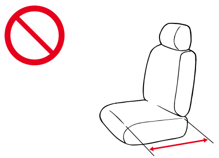


・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。

座席の条件

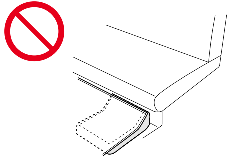
〈取り付けできない座席〉・座席の形状

・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)
・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)

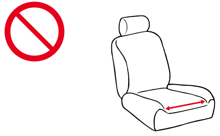


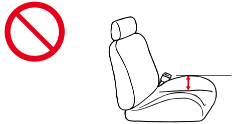
・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。
・レッグサポートを一番短くしても座面に極端な隙間ができる座席。

・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。



・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車など)



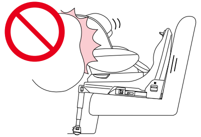


ご使用上の注意

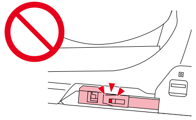
⚠危険 **誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**

・体重2.5kg未満及び18kg以上を超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・回転ロックが掛かっていない状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

ご使用上の注意

⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを収納した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

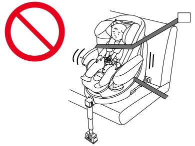
・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。及び物を挟んで使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・走行中にベッド以外で横向きに使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。



⚠警告　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・お子さまを一人で車内に残さない。
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
・同時に二人以上で使用しない。
・緊急時に同乗者の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
・肩ハーネスや腰ハーネス、股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
・お子さまを拘束したままフィットアジャスターの調節操作をしない。
・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・レッグサポートに水やジュース、泥水、ゴミなどが入り高さ調節ができない場合は使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
・ISOFIXで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
・前後のハンドル以外を持って本製品を持ち上げない。
・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
・極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。

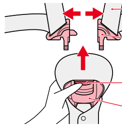
ご使用上の注意

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。**

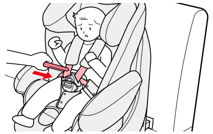
・リクライニングレバーと回転レバーは同時に操作しない。
・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどを負うおそれがあります。
・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの本体を挟まない。
・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。（別売の保護マットを使用する。）
・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
・ISOFIXで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
・チャイルドシートに重量物を載せない。
・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
・屋外に放置し、雨などにさらさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスをお子さまから外す。
③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
④安全な場所へ避難する。

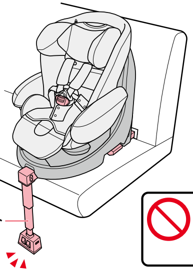


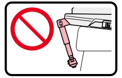
バックルからタングが抜けない時は…
●チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。



日常の点検

・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。
最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
・チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前に各項目を点検してください。

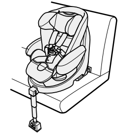




〈取り付け後の確認〉（P45参照）
・レッグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レッグサポートインジケーターが「緑色」になっている。（左右）
・バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。
・ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。（左右）
・座席の背もたれにベースが接している。
・左右のコネクターが同じ長さになっている。

〈横向きベッド使用時〉（P51参照）
・肩ハーネスは、フィットアジャスターを調節し、お子さまの肩に近い位置を通っていること。
・肩パッドが引き出されていること。
・お子さまの足が座面の先端から出ていないこと。
・ヘッドサポートのヘッドガードが起こされていること。
・腰パッドが取り付けられていること。
・デプスアジャスターがショートであること。
・フットレストが上がった状態で保持されていること。（一部グレードのみ）

〈後向き使用時〉（P57参照）
・肩ハーネスは、フィットアジャスターを調節し、お子さまの肩に近い位置を通っていること。
・肩パッドが引き出されていること。
・お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
・デプスアジャスターがショートであること。
・フットレストが下がっていること。（一部グレードのみ）



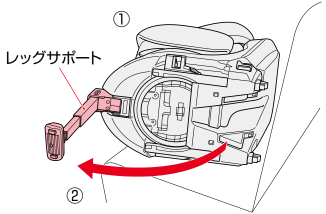
〈前向き使用時〉（P62参照）
・肩ハーネスは、フィットアジャスターを調節し、お子さまの肩の直ぐ上を通っていること。
・肩パッドが引き出されていること。
・お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
・シートバックは背面ロックがロックされていることを目視で確認すること。
・シートバック背面ロックがロックされていることを手で動かして確認すること。
・フットレストが下がっていること。（一部グレードのみ）

⚠警告 ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。（P80参照）

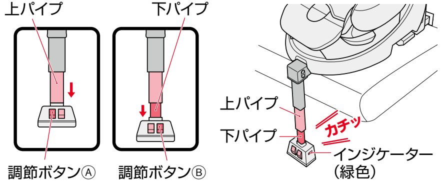
レッグサポートの使いかた

1 ①作業するスペースを充分に確保し、本体を横に寝かせる。
②レッグサポートを起こす。

・出荷時は上パイプが最も長い状態の長さになっています。
・レッグサポートを収納するときは上パイプは最も長く、下パイプは最も短い状態の長さに合わせてください。



2 ①調節ボタンⒶを押してフロアにしっかり接するまで上パイプの長さを調節する。
②フロアにしっかり接しない時は、調節ボタンⒷを押して下パイプの長さを調節する。
③インジケーターが「緑色」であることを確認する。(左右)



・レッグサポートが正しく固定されていることを確認する。
・チャイルドシートを車から外して移動させる際は逆の手順で行ってください。

⚠警告
・レッグサポートを起こすときは、可動部に指を近付けない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

⚠注意
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

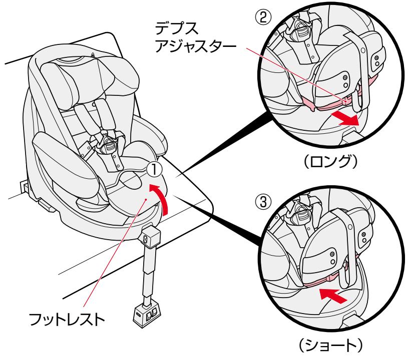
⚠警告
・レッグサポートが正しく固定されていること。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

⚠注意
・上パイプを動かす場合は下パイプを一番短くしてください。下パイプが一番短い状態でないと上パイプは動作しません

デプスアジャスター(奥行き調節座面)の使いかた

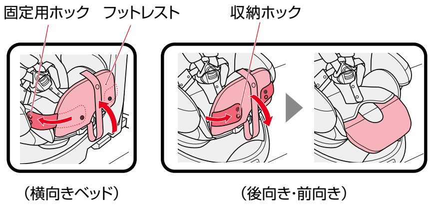
横向きベッド、後向きはショートで使用し、前向きは、お子さまの成長に合わせてデプスアジャスター(奥行き調節座面)を引き出しロングにする。

〈調節のしかた〉
①フットレストを起こす。(一部グレードのみ)
②デプスアジャスターを引き出し、ロングにする。
③デプスアジャスターを押し込み、ショートにする。



アドバイス
前向きご使用時、デプスアジャスターは体格に合わせてどちらでもご使用いただけます。
座面に深く座った状態で座面先端がふくらはぎに強く当たる場合はショートでのご使用をおすすめします。
ロングへの切り替えは3歳くらいが目安です。

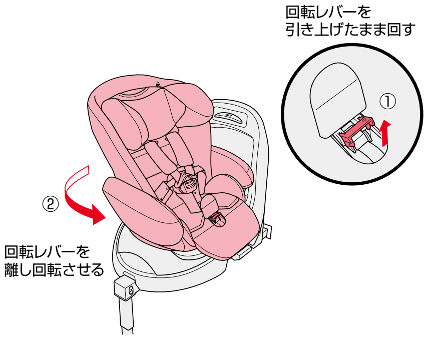
〈フットレストの使いかた〉(一部グレードのみ)
①横向きベッド時はフットレストを起こし、収納ホックを外し、固定用ホックにとめる。
②後向き・前向き時は固定用ホックを外し、収納ホックにとめ、フットレストを寝かす。



回転のしかた

1 ①座面カバーをめくる。
②回転レバーを引き上げる。

2 ①回転レバーを引き上げたままシート部を回す。
②動き始めたら回転レバーから手を離して回転させる。

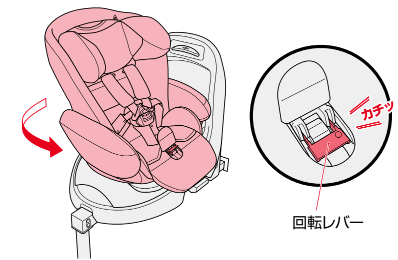


⚠警告
・回転操作時は、可動部に手や指、お子さまの足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

3 横向きになると、回転レバーが戻り、シート部がロックされます。

アドバイス 回転レバーを離さないとロックされません。

〈横向き〉



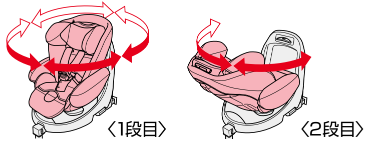
⚠危険
・走行時に横向きはベッド以外で使用しない。
衝突の際に充分な性能を発揮しません。

4 シート部を左右にゆすり、回転がロックされていることを確認する。

アドバイス 確実にロックされていることを確認する。回転レバーが戻らないとリクライニングの操作が行えません。

⚠警告
・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
・回転操作時は、可動部に座っているお子さまの手、指、足などを近づけない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

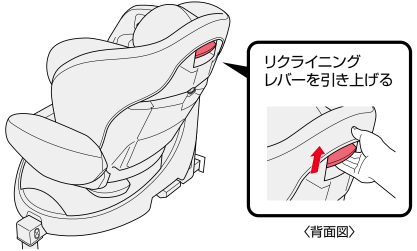
〈リクライニングの段数による回転できる範囲〉



⚠注意
・長時間使用されない時や保管の時には、回転レバーが正しくロックされているか確認してください。
故障の原因になります。

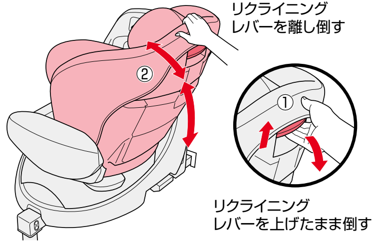
リクライニングのしかた(横向きベッド・後向きのみ)

1 リクライニングレバーを引き上げる。



〈背面図〉

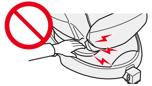
2 ①リクライニングレバーを引き上げたまま背もたれを倒す。
②動き始めたらリクライニングレバーから手を離して倒す。



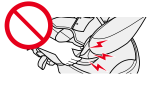
危険
・走行時に横向きはベッド以外で使用しない。
衝突の際に充分な性能を発揮しません。

警告
・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
肩ハーネスが締まり重傷を負うおそれがあります。

警告
・リクライニング操作時は、可動部に手や指などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

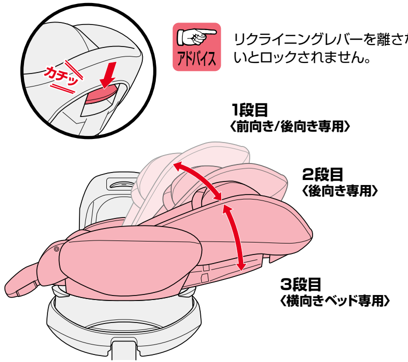


・リクライニング操作時は、座面の隙間に手や指などを近づけない。隙間で挟まれ重傷を負うおそれがあります。



3 背もたれが2段(後向き)、3段(横向きベッド)になると、リクライニングレバーが戻りロックされます。

アドバイス リクライニングレバーを離さないとロックされません。

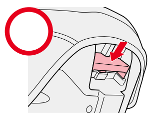


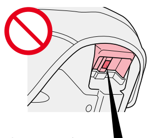
警告
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。

4 シート部を上下にゆすり、正しく固定されていることを確認する。

・確実にロックされていることを確認する。リクライニングレバーが戻らないと回転の操作が行えません。

警告
・操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

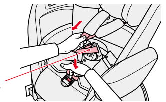




・右図の「ロックしていません。」シールが見えている場合はレバーが戻っていない状態です。
シート部をゆすり、レバーを戻し、ロックしてください。

ロック
してい
ません

アドバイス リクライニングが起こしにくい場合は、肩ハーネスをゆるめてください。(P29参照)



取り付ける前に

肩ハーネス位置の目安

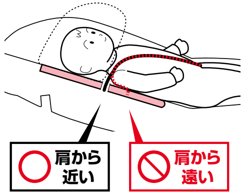
・各ポジションにより、使用する肩ハーネス位置が異なります。
・お子さまの体格に合わせて、フィットアジャスターを5段階で調節してください。

⚠危険	・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

・お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。
・パッド類の取り付けが必要です。お子さまの発育状況により使用してください。(P30〜P32参照)

■横向きベッド使用時

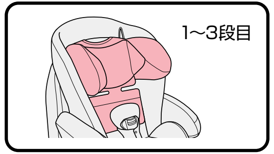
フィットアジャスターを調節し、肩に近い位置の肩ハーネス位置を使用する。



⚠警告	・肩ハーネス位置は、お子さまの肩から遠い位置で使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

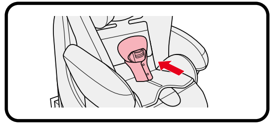
〈フィットアジャスターの位置〉

・1〜3段目まで使用可能。



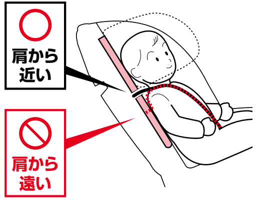
〈股ハーネスの位置〉

・股ハーネスを最も後に下げた位置で使用する。



■後向き使用時

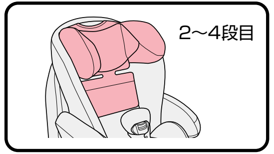
フィットアジャスターを調節し、肩に近い位置の肩ハーネス位置を使用する。



⚠警告	・肩ハーネス位置は、お子さまの肩から遠い位置で使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

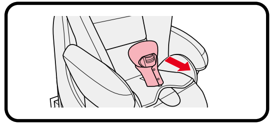
〈フィットアジャスターの位置〉

・2〜4段目まで使用可能。



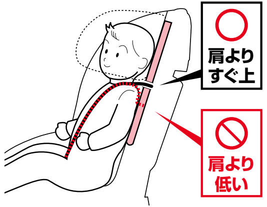
〈股ハーネスの位置〉

・股ハーネスを最も前に出した位置で使用する。



■前向き使用時

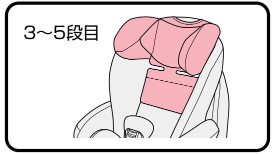
フィットアジャスターを調節し、肩よりすぐ上の肩ハーネス位置を使用する。



⚠警告	・肩ハーネス位置は、お子さまの肩より低い位置で使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

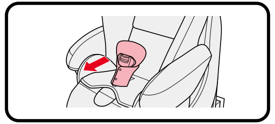
〈フィットアジャスターの位置〉

・3〜5段目まで使用可能。



〈股ハーネスの位置〉

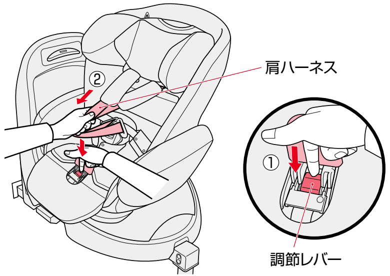
・股ハーネスを最も前に出した位置で使用する。



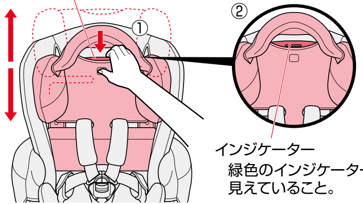
肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)の調節のしかた

•肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)は、5段階に調節できます。
ただし、お子さまをハーネスで拘束した後は調節しないでください。

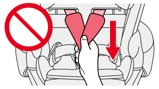
1
①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



2
①フィットアジャスター調節レバーを押し、フィットアジャスター部の高さを調節する。
②フィットアジャスター調節レバーが戻り、フィットアジャスター部が固定されていることをインジケーターで確認する。



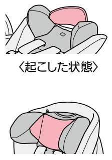
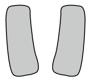
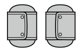
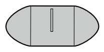
アドバイス
肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。
重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。



注意
・お子さまを拘束したまま肩ハーネス位置を調節しない。

パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。
•ご購入いただいた商品により付属品が異なります。(P5参照)

	ヘッドガード	肩パッドカバー	腰パッド	ヒップインナーシート
○:必ず取り付けてください。 **○:取り外し可能です。**	 〈起こした状態〉 〈倒した状態〉	 〈一部グレードのみ〉		 〈一部グレードのみ〉
横向きベッド	起こす	○	○	○
後向き	起こす／倒す	○	○	○
前向き	倒す	○	○	○

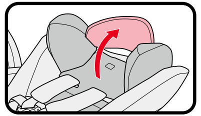
警告
・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。

注意
・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
・パッド類を本書に記載されている以外の目的で使用しないでください。

パッドの使いかた

1 〈ヘッドガードの使いかた〉

・ヘッドガードを起こして使用するとき

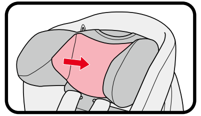


〈横向きベッド、後向き使用時〉

・ヘッドガードを起こす。

> ⚠ **警告**
> ・ヘッドガードを起こした状態で前向きで使用しない。(P30参照)
> 衝突の際に充分性能を発揮しません。

・ヘッドガードを倒して使用するとき



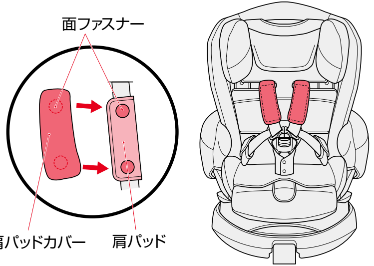
〈後向き、前向き使用時〉

・ヘッドガードをしっかり押し込む。

> ⚠ **警告**
> ・ヘッドガードを倒した状態で横向きベッドで使用しない。(P30参照)
> 衝突の際に充分性能を発揮しません。

2 **〈肩パッドカバーの取り付け〉**(一部グレードのみ)

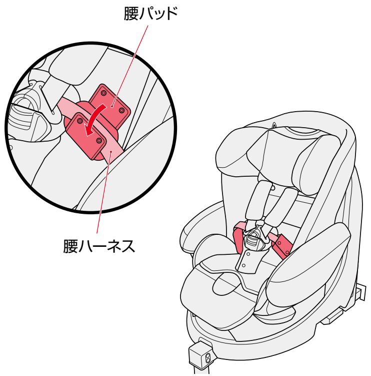
肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付ける。取り付け後は肩パッドカバーを引っ張り確実に取り付けられていることを確認する。



> ⚠ **注意**
> ・肩パッドは外せません。

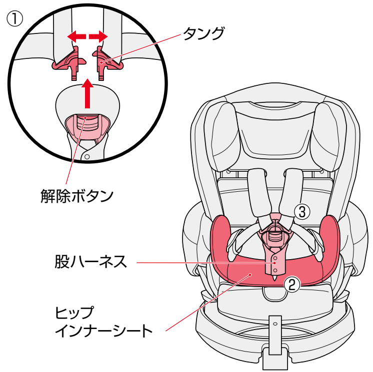
3 **〈腰パッドの取り付け〉**

腰パッドを腰ハーネスに巻き付け、ホックをとめる。



4 **〈ヒップインナーシートの取り付け〉**(一部グレードのみ)

①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②股ハーネスを通し穴に通す。
③タングをバックルに差し込む。

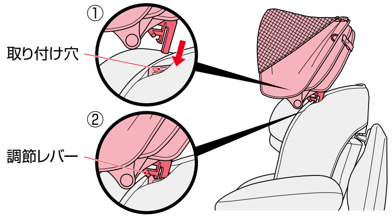


フレックスシェードの使いかた

付属品としてフレックスシェードが同梱されております。
日差しなどを防ぎたい時に本製品に取り付けてお使いください。

5 **〈フレックスシェードの取り付け〉**

①フレックスシェードを取り付け穴に差し込む。
②上に引き上げ外れないことを確認する。



・取り外すときは、調節レバーを押し下げフレックスシェードを引き抜いてください。

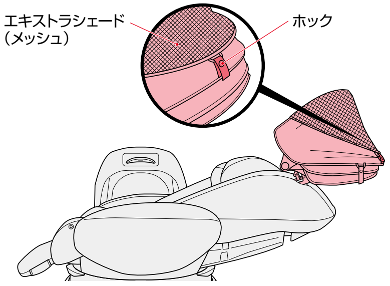
> **⚠ 警告**
> ・フレックスシェードが左右共に正しく固定されていること。衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。

> **⚠ 注意**
> ・窓を大きく開けて走行するなど、車内に風が強く吹き込む状態では使用しないでください。

6 **横向きベッド時の使いかた**（4Way）

〈1段目使用時〉

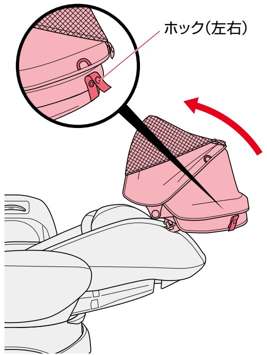
・エキストラシェード（メッシュ）がホックでとまっていることを確認する。（一部グレードのみ）



> **⚠ 警告**
> ・エキストラシェード（メッシュ）を使用しない時は、ホックでとめておくこと。衝突などの際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。

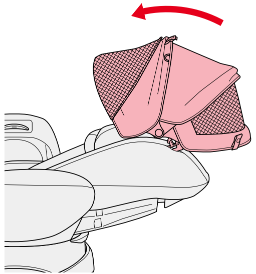
〈2段目使用時〉

・フレックスシェードの左右のホックを外し、矢印の方向に開く。



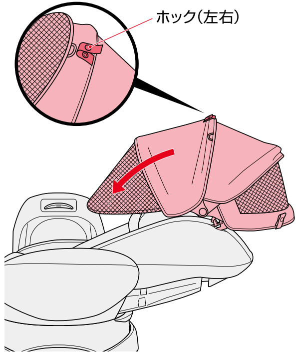
〈3段目使用時〉

・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



〈エキストラシェード（メッシュ）使用時〉
（一部グレードのみ）

・エキストラシェード（メッシュ）のホックを外し、矢印の方向に開く。

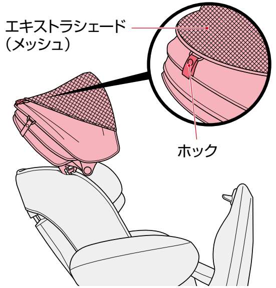


フレックスシェードの使いかた

後向き時の使いかた（3Way）

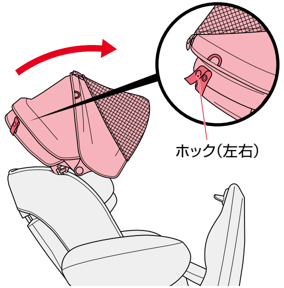
〈1段目使用時〉

・エキストラシェード（メッシュ）がホックでとまっていることを確認する。
（一部グレードのみ）



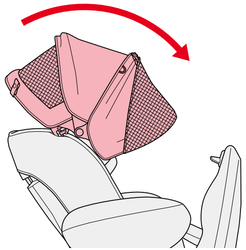
〈2段目使用時〉

・フレックスシェードの左右のホックを外し、矢印の方向に開く。



〈3段目使用時〉

・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



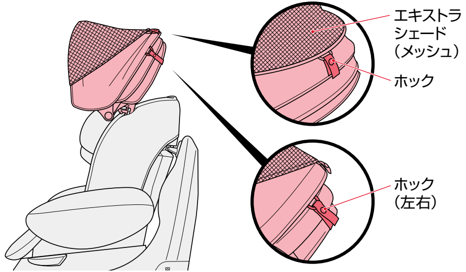
⚠警告

・後向き時はエキストラシェード（メッシュ）を使用しない。

前向き時の使いかた

〈1段目使用時〉

・フレックスシェードを左右のホックでとめ、1段目で固定されていることを確認する。
・エキストラシェード（メッシュ）がホックでとまっていることを確認する。
（一部グレードのみ）

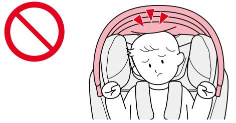


⚠警告

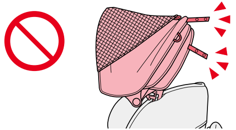
・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。

⚠警告

・お子さまの頭がフレックスシェードに接触する場合はフレックスシェードを使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。



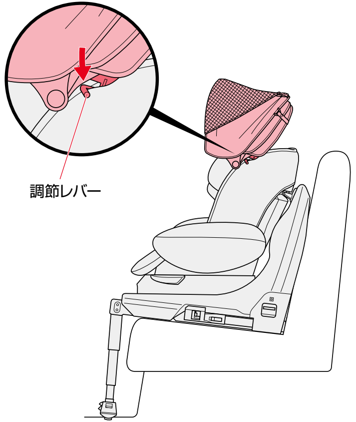
・エキストラシェード（メッシュ）を使用しない時は、ホックでとめておくこと。
・フレックスシェードをホックでとめずに前向きで使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。



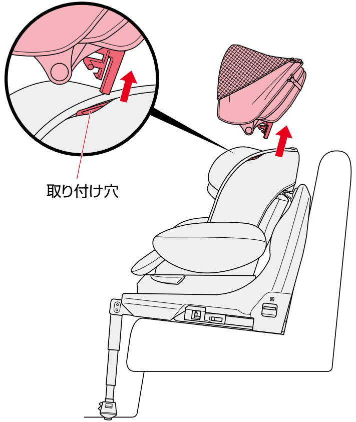
フレックスシェードの使いかた

7 〈フレックスシェードの取り外し〉

①調節レバーを押し下げる。



②調節レバーを押し下げた状態で、フレックスシェードを取り付け穴から引き抜く。



取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

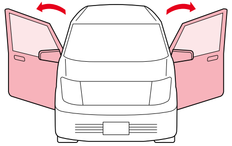
●車の座席形状により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP11～P15を参照してください。

⚠危険

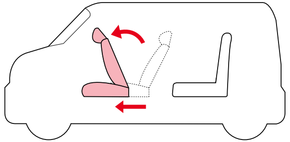
・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。
・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
・レッグサポートを収納した状態で取り付けない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

1 〈取り付け作業のスペース確保〉

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

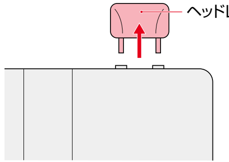


②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。

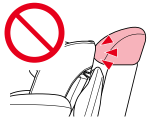


取り付け準備

2 **〈取り付ける座席の準備〉**
①ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
②取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

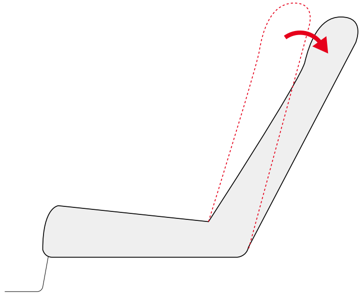


⚠ 警告
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。



③背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。

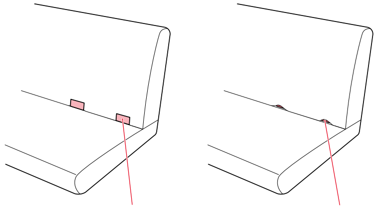
アドバイス 車の背もたれをリクライニングした場合、ISOFIXバーが見えなくなる場合があります。そのときはISOFIXバーが見えるところまで車の背もたれを起こしてください。



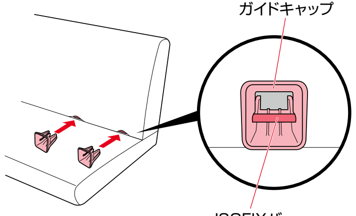
取り付けかた

・本製品は、横向きベッド、後向き、前向きの3通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。
　車への取り付けが完了した後で、お子さまの体重に合わせてご使用ください。
・本書では左後部座席での取り付けかたを説明しています。

1 ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを外す。(左右)



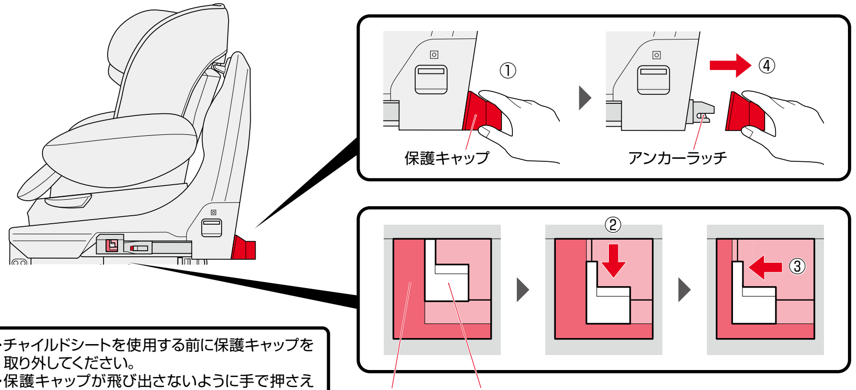
2 ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み、取り付ける。(左右)



アドバイス
・ISOFIXバーは車のシートにかくれて見えにくい場合は、付属のガイドキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車のシートによってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。
・使用しない場合は大切に保管してください。

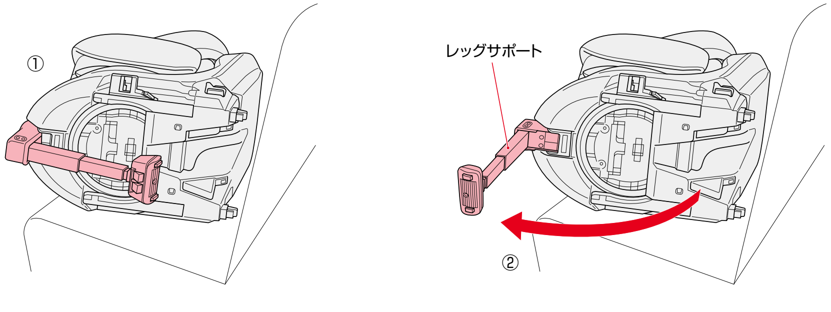
取り付けかた

3 **〈保護キャップを取り外す〉**
①保護キャップが飛び出さないように手で押さえる。
②アンカーラッチ解除レバーのセーフティーレバーを下げながら、
③矢印の方向へアンカーラッチ解除レバーを握る。
④保護キャップを外す。(左右)



注意
・チャイルドシートを使用する前に保護キャップを取り外してください。
・保護キャップが飛び出さないように手で押さえながら取り外してください。
・保護キャップはおもちゃではありません。お子さまにおもちゃとして使わせないでください。

4 **〈レッグサポートを起こす〉**
①作業するスペースを充分に確保し、本体を横に寝かせる。
②レッグサポートを起こす。
③レッグサポートが固定されていることを確認する。

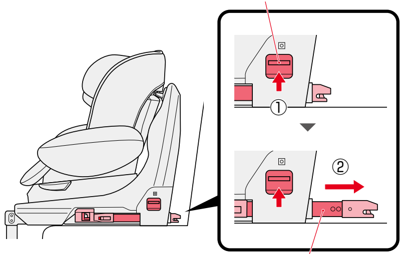


注意
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

警告
・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬ重傷を負う可能性があります。

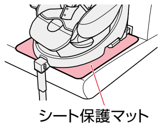
5

①コネクター解除レバーを引き上げながら、
②コネクターを最後まで後方に引き出す。(左右)



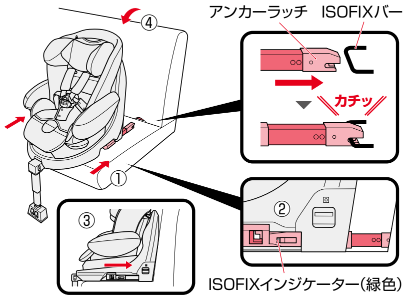
注意

・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。(別売のシート保護マットをご使用ください。)
座席の革をいためるおそれがあります。



6

①左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を押し込む。
②左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。
③車の座席の背もたれに接するまでベースを押す。
④取り付ける前の準備(P39参照)で背もたれを倒した場合は、背もたれをベースに接するまで起こす。



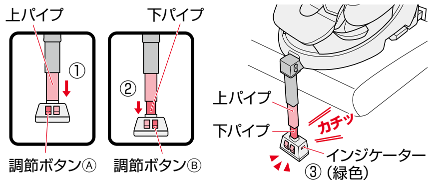
警告

・ISOFIXの操作時にお子さまをそばに近づけない。
思わぬ重傷を負う可能性があります。

7

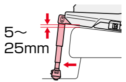
①レッグサポートの調節ボタンⒶを押して適切な状態になるように上パイプの長さを調節する。
②フロアにしっかり接しない時は、調節ボタンⒷを押して下パイプの長さを調節する。
③インジケーターの「緑色」を確認する。(左右)
・座席の背もたれのリクライニングを倒した場合は起こす。

・出荷時は上パイプが最も長い状態の長さになっています。



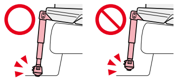
アドバイス

・座席から少し浮かせてください。(5〜25mm程度)
・レッグサポートは前方へ引き出して接地させてください。



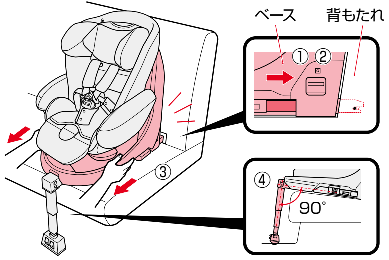
危険

・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



8

①もう一度ベースを車の座席の背もたれに強く押し付ける。
②ベースの右側・左側を車の座席の背もたれに強く押し付ける。(片側ずつ)
③ベースを手前に引き、動かないことを確認する。
④ベースとレッグサポートが90°になるように調節する。



警告

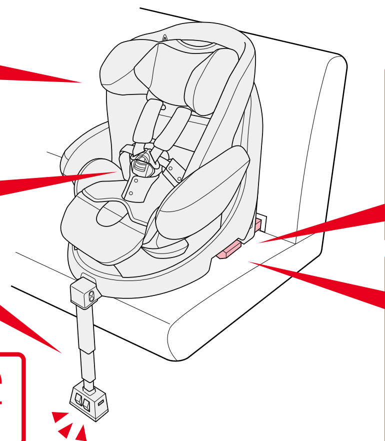
・チャイルドシートと座席の背もたれに隙間が生じる場合は座席のリクライニングを起こして隙間を無くすこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付け後の確認

・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

動画 取扱説明

QRコード

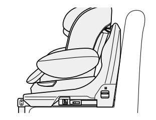


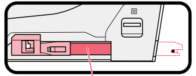
座席の背もたれにベースが接している。

バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。

レッグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レッグサポートインジケーターが「緑色」になっている。（左右）

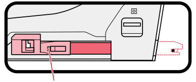
・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P38～P44の手順で取り付け直してください。





コネクター

左右のコネクターが同じ長さになっている。



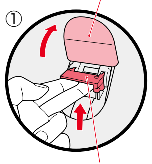
ISOFIXインジケーター

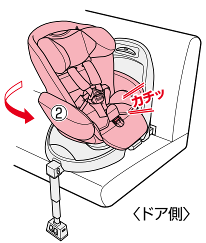
ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。（左右）

横向きベッドにする 〈体重：2.5kgから 9kg未満〉（P9「お子さまの条件」参照）

⚠危険
・走行時に横向きはベッド以外で使用しない。
衝突の際に充分な性能を発揮しません。

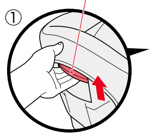
1 **〈シート部正面をドア側に回転させる〉**（P23参照）
①座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
②シート部を横向きに回転させる。

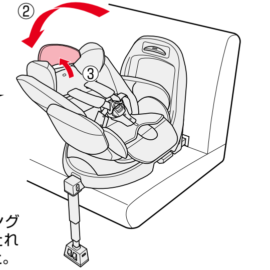




⚠警告
・本製品を横向きベッドで使用する時は、ベッドを車の進行方向に対して横になるようにして使用すること。
・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突の際に充分な性能を発揮できません。

2 **〈背もたれを倒す〉**（P25参照）
①リクライニングレバーを引き上げる。
②背もたれを3段目〈横向きベッド専用〉にする。
③ヘッドガードを起こす。





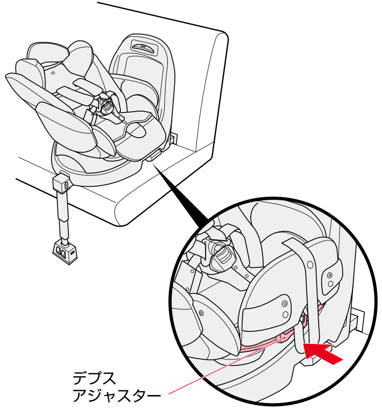
・操作後、リクライニングレバーが戻り、背もたれが固定されていること。

⚠警告
・お子さまを乗せたままリクライニング操作をしない。
重傷を負うおそれがあります。
・リクライニング・回転操作時は、可動部にお子さまの手や指などを近づけないこと。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

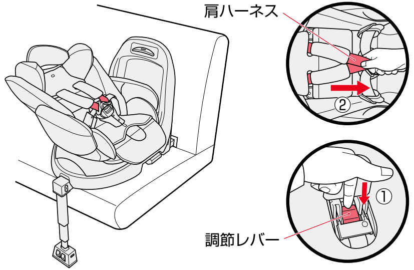
・リクライニングレバーが戻らない状態で使用しない。
衝突の際に充分な性能を発揮できません。

横向きベッドのお子さまの乗せかた 〈体重：2.5kg から 9kg 未満〉

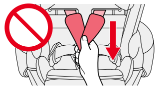
1 **〈デプスアジャスター（奥行き調節座面）の確認〉**
デプスアジャスターがショートになっていることを確認する。



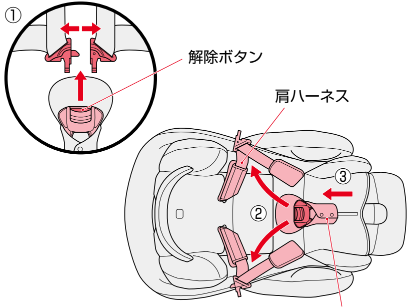
2 **〈肩ハーネスをゆるめる〉**
①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



アドバイス
肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。
重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。

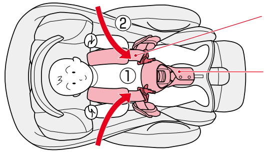


3 **〈タングを外す〉**
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスを左右に開く。
③股ハーネスを一番後ろまで下げる。（P27 参照）

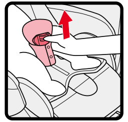


注意
・ヘッドガードが起こされていること。（P31参照）
・腰パッドが取り付けられていること。（P32参照）

4 **〈お子さまを乗せる〉**
①お子さまの股間と股ハーネスカバーが接するように中央に寝かせる。
②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。

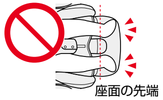


アドバイス
股ハーネスを一番後ろまで下げ、お子さまのお尻が股ハーネスの上に乗らないように正しく立ててください。



・肩ハーネスは、真上から見て肩に近い位置の肩ハーネス位置に調節していること。（P27参照）

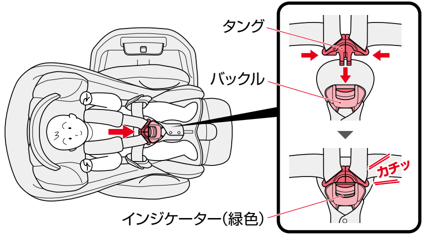
警告
・お子さまの足が座面の先端から出る場合は横向きベッドで使用しない。
ドアなどに足があたり、重傷を負うおそれがあります。



横向きベッドのお子さまの乗せかた 〈体重：2.5kg から 9kg 未満〉

5 〈タングを差し込む〉

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込み、バックルのインジケーターが緑色になっていることを確認する。

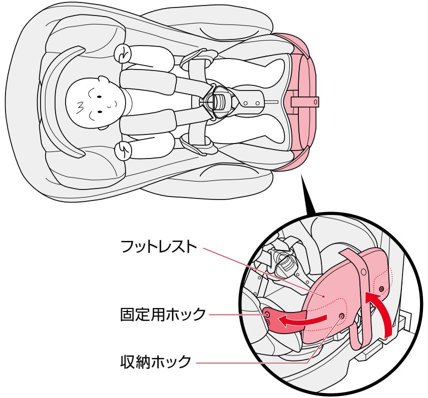


⚠ 警告

・タングをバックルに差し込む時は、差し込み口付近に指や手を近づけない。
手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は本製品を使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合、バックルのインジケーターが緑色に変わっていない場合は本製品は使用しない。(P80参照)
衝突の際に充分性能を発揮できません。

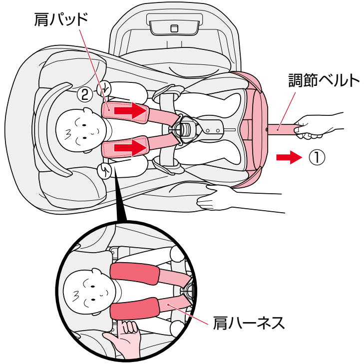
6 〈フットレストを起こす〉(一部グレードのみ)

フットレストを起こし、収納ホックを外し、固定用ホックにとめる。



7 〈肩ハーネスを短く調節する〉

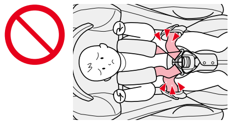
①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②肩パッドを引き出す。



アドバイス お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

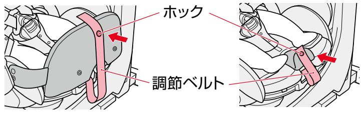
⚠ 警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



⚠ 注意

・調節ベルトのホックが所定の位置のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



プレミアム(フットレストあり)　(フットレストなし)

横向きベッド

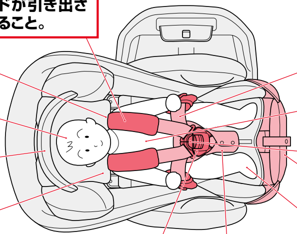
横向きベッド使用時の確認〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

⚠警告

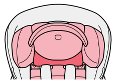
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

動画 取扱説明

QRコード



- **肩に近い位置の肩ハーネス位置を使用すること。**
- **お子さまの頭の位置が車の中央側に向いていること。**
- **ヘッドガードが起こされていること。**
- **フィットアジャスター下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせること。**

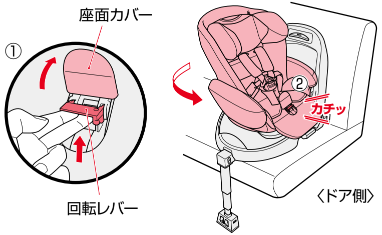


- **肩パッドが引き出されていること。**
- **バックルが股ハーネスカバーよりはみ出さないこと。**
- **股ハーネスが一番後ろまで下がっていること。**
- **腰パッドが取り付けられていること。**
- **お子さまを中央に寝かせること。**
- **タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、インジケーターが緑色に変わっていること。**
- **デプスアジャスター(奥行き調節座面)がショートであること。**
- **お子さまの足が座面の先端から出ていないこと。**

• 正しくできていない場合は、もう一度P46～P50の手順をやり直してください。

後向きのお子さまの乗せかた〈首すわりから 13kg未満〉(P9「お子さまの条件」参照)

1 **〈シート部正面をドア側に回転させる〉**(P23参照)
①座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
②シート部を横向きに回転させる。



⚠危険

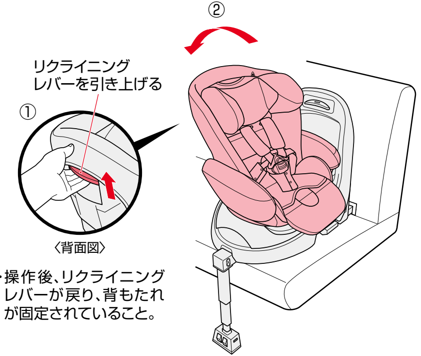
・走行時に横向きはベッド以外で使用しない。衝突の際に充分な性能を発揮しません。

⚠警告

・回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

2 **〈リクライニングの調節〉**(P25参照)
①リクライニングレバーを引き上げる。
②背もたれを1、2段目〈後向き専用〉にする。

アドバイス　ヘッドガードは倒しても起こしても使用できます。

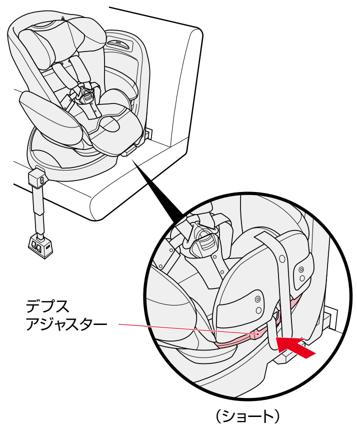


・操作後、リクライニングレバーが戻り、背もたれが固定されていること。

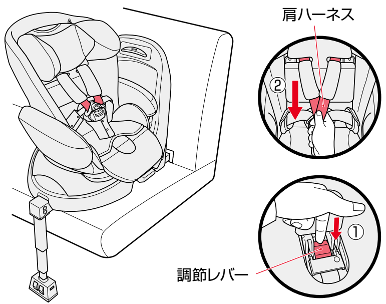
後向き

後向きのお子さまの乗せかた 〈首すわりから 13kg未満〉

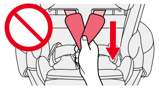
3 **〈デプスアジャスター(奥行き調節座面)の確認〉**
デプスアジャスターがショートになっていることを確認する。



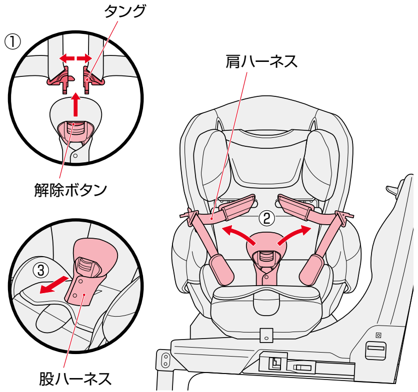
4 **〈肩ハーネスをゆるめる〉**
①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



アドバイス
肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。
重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。

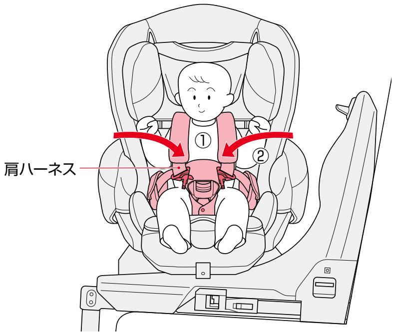


5 **〈タングを外す〉**
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスを左右に開く。
③股ハーネスを一番前まで出す。(P28参照)



6 **〈お子さまを乗せる〉**
①お子さまを座席に深く座らせる。
②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。

・肩ハーネス位置は正面から見て肩に近い位置に調節していること。(P27参照)

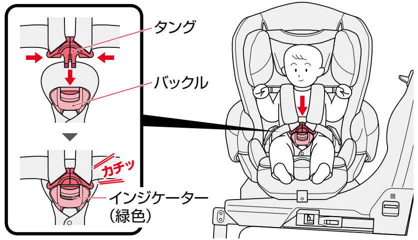


アドバイス
ヘッドガードがお子さまの頭頂に当たる場合は、ヘッドガードを倒してご使用ください。

後向きのお子さまの乗せかた 〈首すわりから 13kg未満〉

7 〈タングを差し込む〉

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込み、バックルのインジケーターが緑色になっていることを確認する。

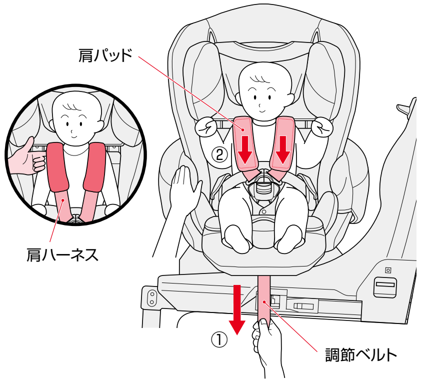


⚠ 警告

・タングをバックルに差し込む時は、差し込み口付近に指や手を近づけない。
手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は本製品を使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合、バックルのインジケーターが緑色に変わっていない場合は本製品は使用しない。（P80参照）
衝突の際に充分性能を発揮できません。

8 〈肩ハーネスを短く調節する〉

①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②肩パッドを引き出す。



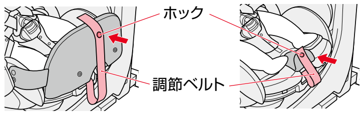
アドバイス お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

⚠ 警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

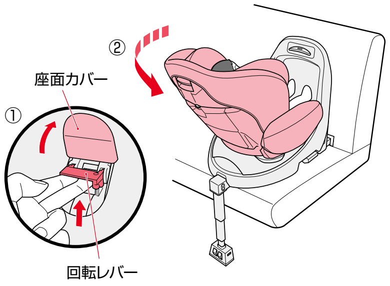
⚠ 注意

・調節ベルトのホックが所定の位置のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



9 〈シート部を後向きに回転させる〉（P23参照）

①座面カバーをめくり、回転レバーを引き上げる。
②シート部を後向きに回転させる。



⚠ 警告

・回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
・お子さまを乗せた状態で回転させる時は、お子さまの手足を本体とベースの間などに近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

後向き使用時の確認 〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

⚠警告	・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。 ・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。 衝突の際に充分性能を発揮できません。

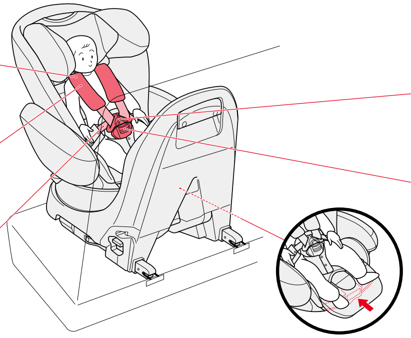
動画 取扱説明

QRコード

肩に近い肩ハーネス位置に調節していること。

肩パッドが引き出されていること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。



タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、インジケーターが緑色に変わっていること。

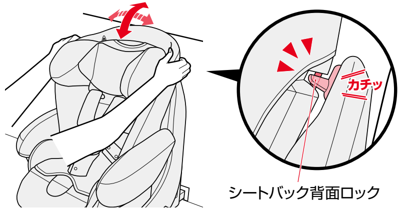
バックルが股ハーネスカバーよりはみ出さないこと。

デプスアジャスター（奥行き調節座面）がショートになっていること。

・正しくできていない場合は、もう一度P52～P56の手順をやり直してください。

前向きにする 〈体重:9kgから 18kgまで〉(P10「お子さまの条件」参照)

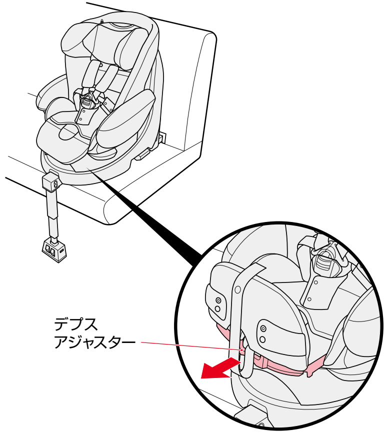
1 **〈目視と手で動かして確認する〉**
①シートバック背面ロックがベース側のガイドを通り、「カチッ」とロックされたことを確認する。
②本体上部を前後左右に動かし、本体が固定されていることを確認する。



⚠警告	・シートバック背面ロックが必ずロックされていること。 ・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。 衝突の際に充分性能を発揮できません。

⚠注意	・回転レバーを握り続けるとロックが入らない場合があります。

2 **〈デプスアジャスター（奥行き調節座面）の調節〉**
デプスアジャスターをお子さまの体型に合わせて調節する。(P22参照)

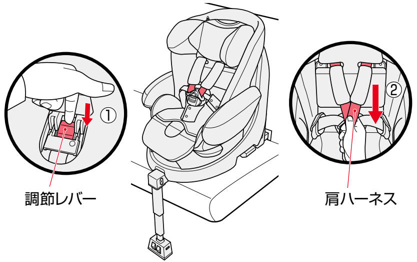


前向きのお子さまの乗せかた 〈体重:9kgから 18kgまで〉

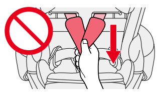
1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

①座面カバーをめくり、調節レバーを押す。
②調節レバーを押したまま肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)

アドバイス ヘッドガードを倒して使用します。

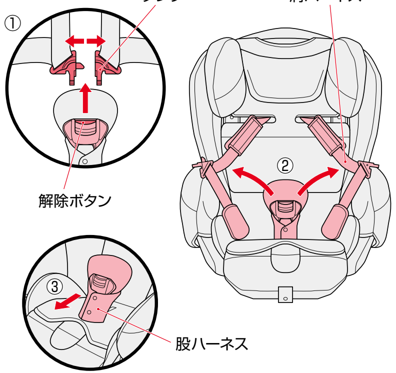


アドバイス 肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。
重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。



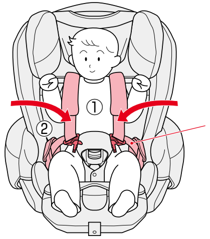
2 〈タングを外す〉

①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスを左右に開く。
③股ハーネスを一番前まで出す。(P28参照)



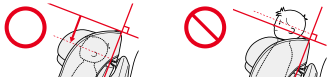
3 〈お子さまを乗せる〉

①お子さまを座席に深く座らせる。
②お子さまの肩に肩ハーネスを掛ける。



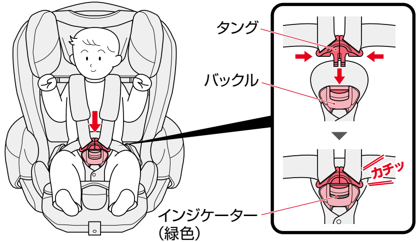
・肩ハーネスは、正面から見て肩よりすぐ上の肩ハーネス位置に調節していること。(P28参照)

警告
・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



4 〈タングを差し込む〉

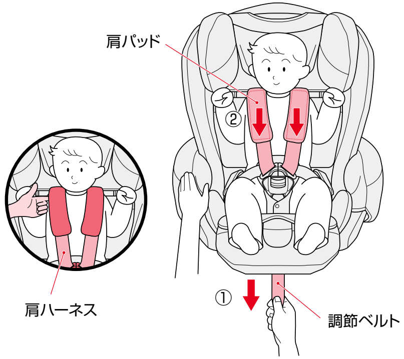
左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込み、バックルのインジケーターが緑色になっていることを確認する。



警告
・タングをバックルに差し込む時は、差し込み口付近に指や手を近づけない。
手や指などが挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は本製品を使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合、バックルのインジケーターが緑色に変わっていない場合は本製品は使用しない。(P80参照)
衝突の際に充分性能を発揮できません。

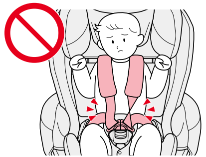
前向きのお子さまの乗せかた〈体重:9kgから 18kgまで〉

5 **〈肩ハーネスを短く調節する〉**
①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②肩パッドを引き出す。

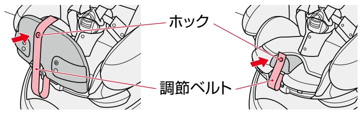


アドバイス
・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。
・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください。

⚠警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



⚠注意
・調節ベルトのホックが所定の位置のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。

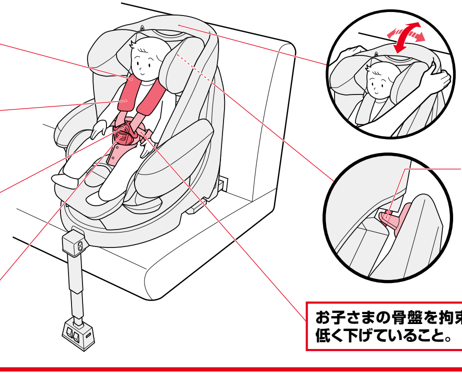


プレミアム(フットレストあり)　　(フットレストなし)

前向き使用時の確認〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

⚠警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

動画 取扱説明
QRコード



肩よりすぐ上の肩ハーネス位置に調節していること。

肩パッドが引き出されていること。

タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、インジケーターが緑色に変わっていること。

バックルが股ハーネスカバーよりはみ出さないこと。

シートバック背面ロックがロックされていることを手で動かして確認すること。

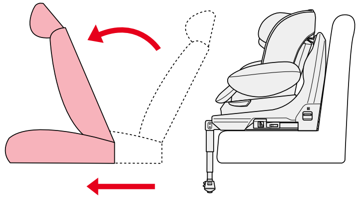
シートバックは背面ロックがロックされていることを目視で確認すること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

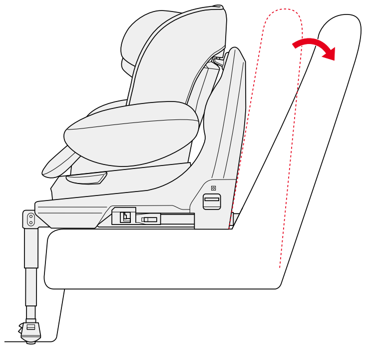
・正しくできていない場合は、もう一度P58～P61の手順をやり直してください。

車からの取り外しかた

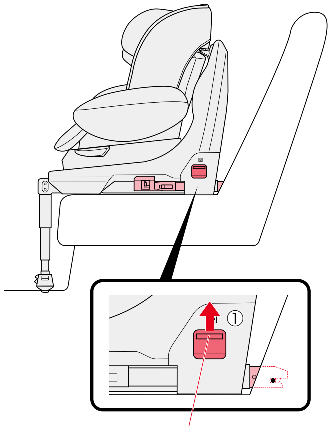
1 作業前に前座席を倒したり、スライドさせること
で車内での作業スペースを確保できます。

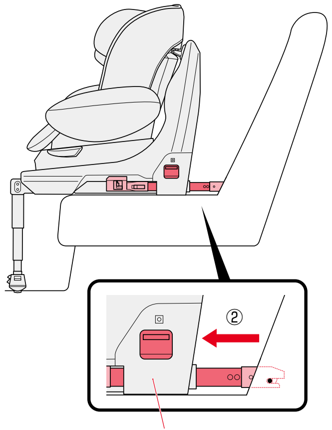


2 車の背もたれがリクライニングする場合は
少し後方へ倒す。



3 ①左右のコネクター解除レバーを引き上げながら、　②ベースを手前に引く。



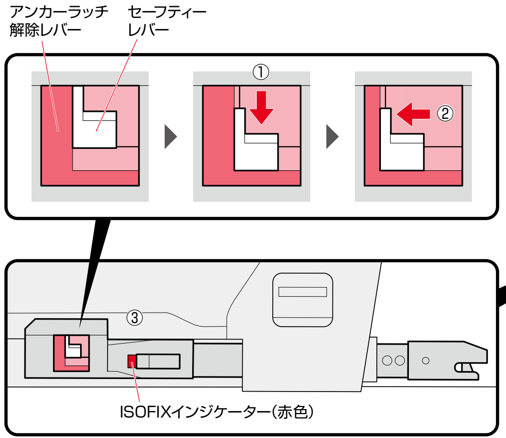


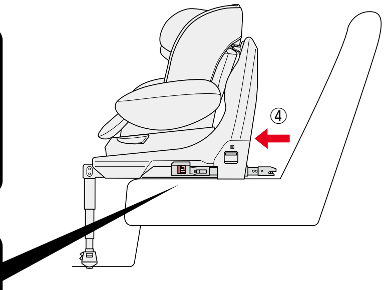
車からの取り外しかた

4

①アンカーラッチ解除レバーのセーフティーレバーを
下げながら、
②矢印の方向へアンカーラッチ解除レバーを握り、
ISOFIXバーから解除する。

③ISOFIXインジケーターが「緑色」から「赤色」になり
解除したことを確認する。(左右)
④解除した状態でベースを手前に引き寄せる。





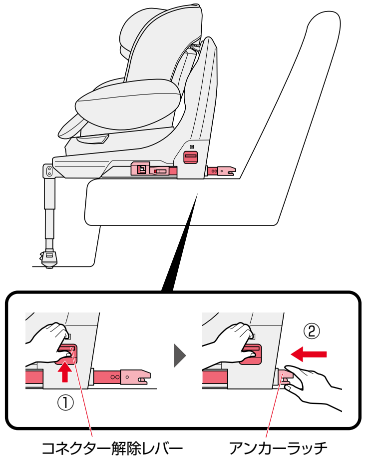
警告

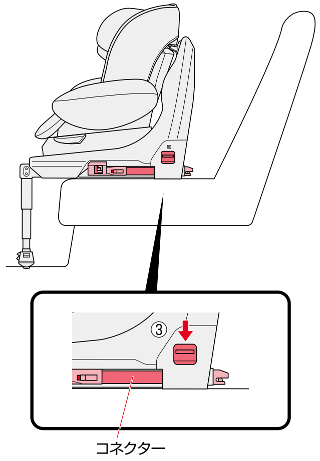
・ISOFIXの操作時にお子さまをそばに近づけない。思わぬ重傷を負う可能性があります。

5

①コネクター解除レバーを上げながら、
②アンカーラッチを収納する。(左右)

③コネクター解除レバーから指を放し、解除レバーが
復帰しコネクターが動かないことを確認する。



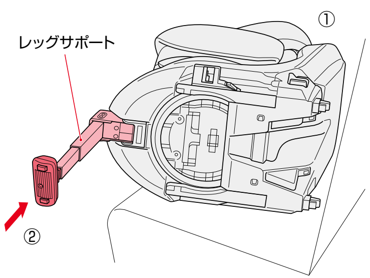


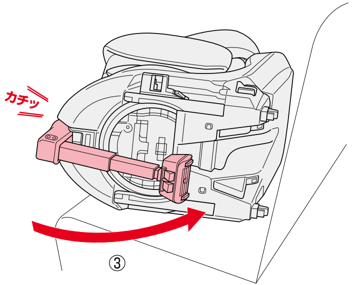
車からの取り外しかた

6 **〈レッグサポートを収納する〉**

①本体を横に寝かせる。
②レッグサポートの下パイプを最も短い状態の長さ、上パイプを最も長い状態の長さにする。

③レッグサポートを「カチッ」と音がするまで折りたたみ、ロックされたことを確認する。





⚠注意

・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

⚠警告

・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬ重傷を負う可能性があります。
・本製品を移動する際には、レッグサポートで手、指などをはさまないように注意する。思わぬ重傷を負う可能性があります。

縫製品の洗いかた

※グレードにより縫製品は異なります。

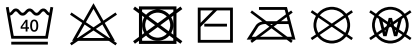
◎：洗濯機洗い可　○：手洗い

フラディア グロウ ISOFIX プレミアム	洗いかた
肩パッドカバー	○
股ハーネスカバー	○
サイドカバー	○
背もたれカバー	◎
フィットアジャスターカバー	○
背もたれベースカバー	◎
フットレストカバー プレミアム	○
シートカバー	○
ヒップインナーシート	◎

フラディア グロウ ISOFIX	洗いかた
股ハーネスカバー	○
サイドカバー	○
背もたれカバー	◎
フィットアジャスターカバー	○
背もたれベースカバー	◎
フットレストカバー	○
シートカバー	○

フラディア グロウ ISOFIX AC	洗いかた
股ハーネスカバー	○
サイドカバー	○
背もたれカバー	○
背クッション・座面カバー	○
フィットアジャスターカバー	○
シートカバー	○

〈洗濯機洗い〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

〈手洗い〉

※ねじり又は絞り禁止

⚠注意

・他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り（移染）のおそれがあります。
・肩パッド、腰パッド、フレックスシェード、フットレストクッション（一部グレードのみ）は洗濯できません。樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れに従ってください。（P78参照）

シートカバーの取り外しかた 〈フラディア グロウ ISOFIX プレミアム〉〈フラディア グロウ ISOFIX〉

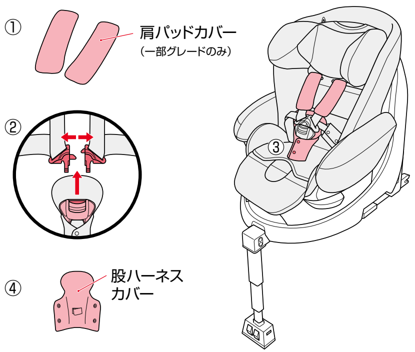
※シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

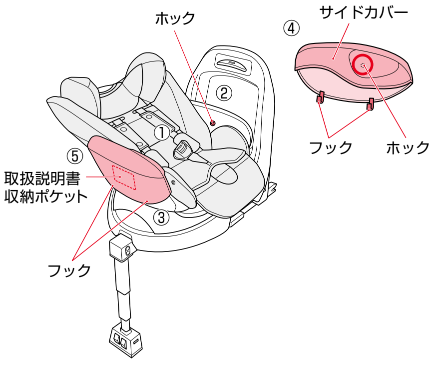
1 **〈肩パッドカバー・股ハーネスカバーの取り外しかた〉**

①肩パッドの面ファスナーを外し、肩パッドカバーを取り外す。(P31参照)(一部グレードのみ)
②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
③股ハーネスカバーのホック(2カ所)を外す。
④面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。

2 **〈サイドカバーの取り外しかた〉**

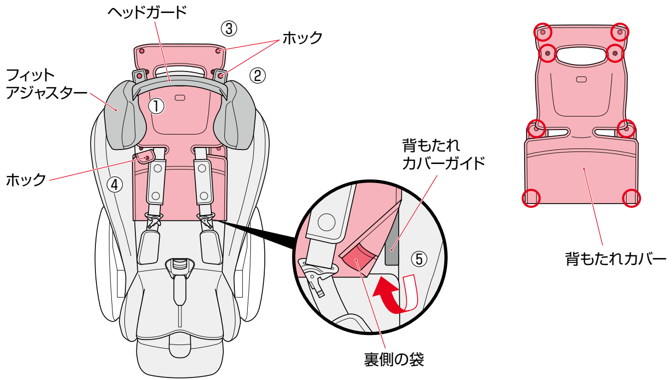
①本体を横向きベッドにする。
②サイドカバーのホック(1カ所)を外す。
③サイドカバーのフック(2カ所)を外す。
④サイドカバーを取り外す。
⑤取扱説明書収納ポケットから取扱説明書を取り出す。





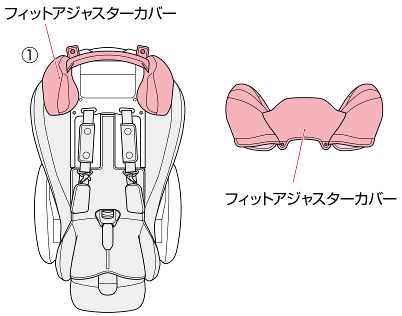
3 **〈背もたれカバーの取り外しかた〉**

①フィットアジャスターを最上段まで引き上げ、ヘッドガードを起こす。
②フィットアジャスターカバーのホック(2カ所)を外す。
③背もたれカバー背面のホック(2カ所)を外す。
④背もたれカバー正面のホック(2カ所)を外す。
⑤背もたれカバー下部裏側の袋(2カ所)を背もたれカバーガイドから抜き取り、取り外す。

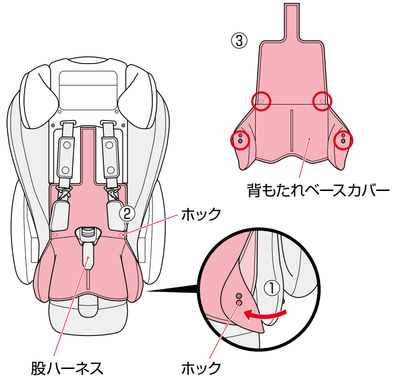


シートカバーの取り外しかた 〈フラディア グロウ ISOFIX プレミアム〉〈フラディア グロウ ISOFIX〉

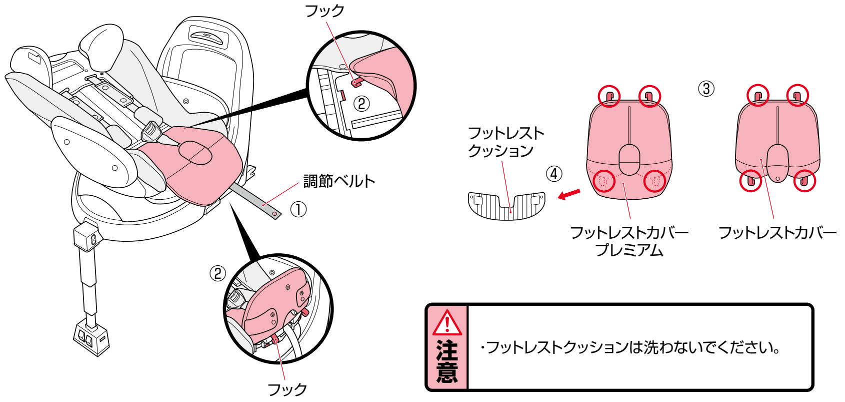
4 **〈フィットアジャスターカバーの取り外しかた〉**
①フィットアジャスターカバーを取り外す。



5 **〈背もたれベースカバーの取り外しかた〉**
①背もたれベースカバー横側のホック(2カ所)を外す。
②背もたれベースカバー裏側のホック(2カ所)を外す。
③股ハーネスを抜き、座面カバーを取り外す。



6 **〈フットレストカバーを取り外す〉**
①調節ベルトのホックを外す。
②フットレストカバーのフック(4カ所)を外す。
③股ハーネスを抜き、フットレストカバーを取り外す。
④フットレストクッションを取り出す。(一部グレードのみ)

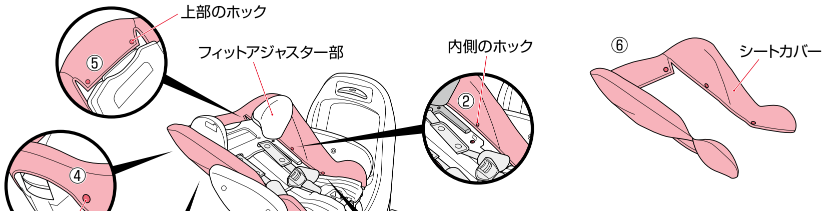
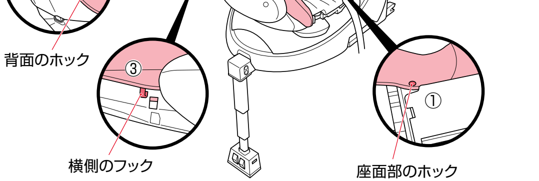


注意
・フットレストクッションは洗わないでください。

シートカバーの取り外しかた 〈フラディア グロウ ISOFIX プレミアム〉〈フラディア グロウ ISOFIX〉

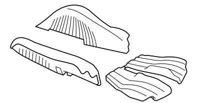
7 **〈シートカバーの取り外しかた〉**

①座面部のホックを外す。(2カ所)
②背もたれ内側のホックを外す。(2カ所)
③背もたれ横側のフックを外す。(2カ所)
④背もたれ背面のホックを外す。(2カ所)
⑤フィットアジャスター部を最下段まで引き下げ、背もたれ上部のホックを外す。(2カ所)
⑥シートカバーを取り外す。

⚠ 注意

・座面と背もたれサイドのクッションは洗わないでください。

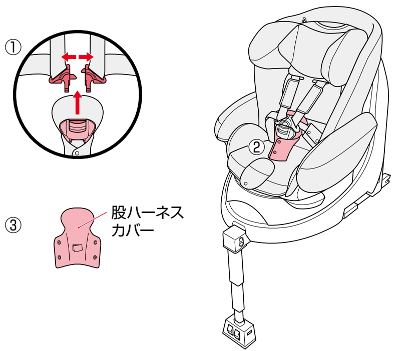


シートカバーの取り外しかた 〈フラディア グロウ ISOFIX AC〉

※シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

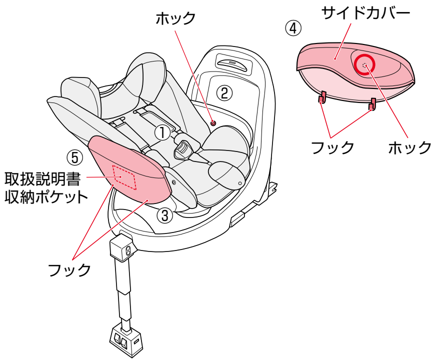
1 **〈股ハーネスカバーの取り外しかた〉**

①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②股ハーネスカバーのホック(2カ所)を外す。
③面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。



2 **〈サイドカバーの取り外しかた〉**

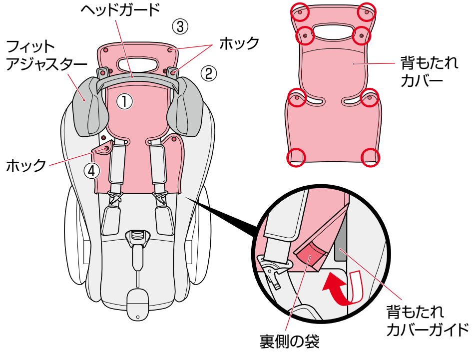
①本体を横向きベッドにする。
②サイドカバーのホック(1カ所)を外す。
③サイドカバーのフック(2カ所)を外す。
④サイドカバーを取り外す。
⑤取扱説明書収納ポケットから取扱説明書を取り出す。



お手入れ

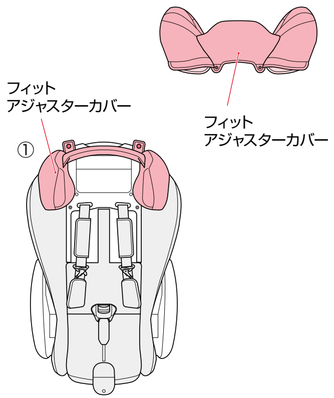
3 〈背もたれカバーの取り外しかた〉

①フィットアジャスターを最上段まで引き上げ、ヘッドガードを起こす。
②フィットアジャスターカバーのホック(2カ所)を外す。
③背もたれカバー背面のホック(2カ所)を外す。
④背もたれカバー正面のホック(2カ所)を外す。
⑤背もたれカバー下部裏側の袋(2カ所)を背もたれカバーガイドから抜き取り、取り外す。



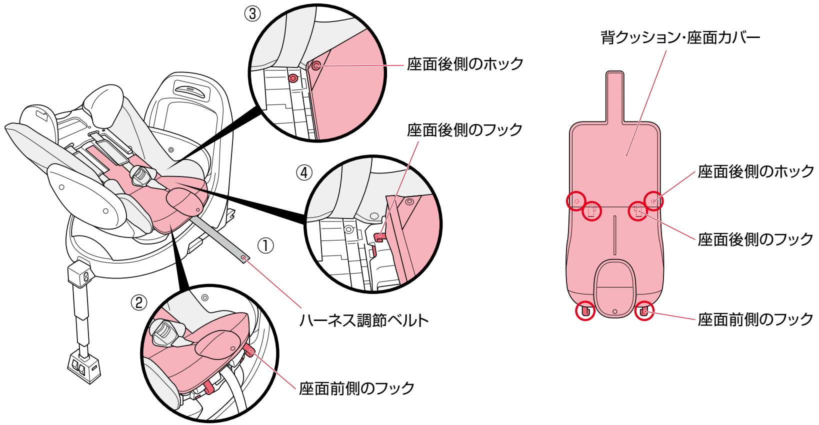
4 〈フィットアジャスターカバーの取り外しかた〉

①フィットアジャスターカバーを取り外す。



5 〈背クッション・座面カバーの取り外しかた〉

①ハーネス調節ベルトのホックを外す。
②座面前側のフック(2カ所)を外す。
③座面後側のホック(2カ所)を外す。
④座面後側のフック(2カ所)を外す。
⑤股ハーネスを抜き、背クッション・座面カバーを取り外す。

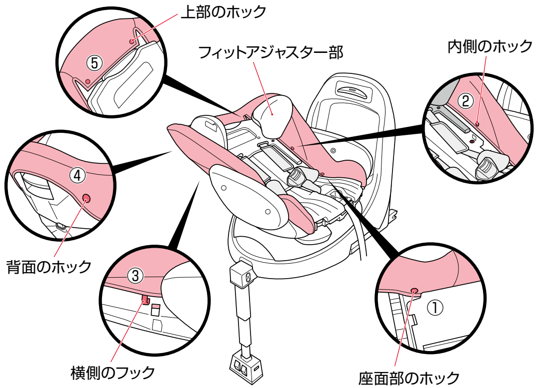


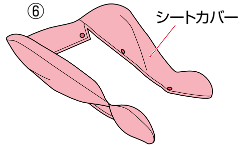
お手入れ

シートカバーの取り外しかた 〈フラディア グロウ ISOFIX AC〉

6 **〈シートカバーの取り外しかた〉**

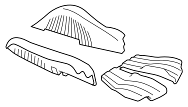
①座面部のホックを外す。(2カ所)
②背もたれ内側のホックを外す。(2カ所)
③背もたれ横側のフックを外す。(2カ所)
④背もたれ背面のホックを外す。(2カ所)
⑤フィットアジャスター部を最下段まで引き下げ、
　背もたれ上部のホックを外す。(2カ所)
⑥シートカバーを取り外す。





⚠注意

･座面と背もたれサイドのクッションは洗わないでください。



お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

材　質	
樹　　脂　　部	ポリプロピレン
シートクッション	ポリプロピレン発泡･ポリウレタン発泡
表　　生　　地	ポリエステル

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

・タオルなどで乾拭きしてください。
・回転レバー付近にゴミがつまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

⚠注意

･本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

⚠注意

･屋外に放置し、雨などにさらさない。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉

・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困ったときには 〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P82「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアップリカホームページ「https://www.aprica.jp/」や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車の後部座席(3列シートの車の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。(P11「座席の条件」参照)
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。(P9「お子さまの条件」参照)

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。(P38～P44「取り付け準備」、「取り付けかた」参照)
	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P82「アフターサービスについての連絡先」参照)
アンカーラッチが引き出せない。	コネクター解除レバーを上げて、コネクターを最後まで引き出してください。(P43「取り付けかた」参照)
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。(P40「取り付けかた」参照)

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してもバックルにタングが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。参照 P27「肩ハーネス位置の目安」
	車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
	お子さまが股ハーネスの上に乗っていないことを確認し、お子さまの腰を座面の奥まで移動させてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	調節ベルトを引き、肩ハーネスとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んでください。参照 P50(横向きベッドの場合),P55(後向きの場合),P61(前向きの場合)「肩ハーネスを短く調節する」
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	左右の肩ハーネスのどちらかが緩く感じる場合は、お子さまの腰の位置を中央に戻して調節ベルトを引き、肩ハーネスをしめなおしてください。
チャイルドシートのバックルにタングが入らない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。参照 P49(横向きベッドの場合),P55(後向きの場合),P60(前向きの場合)「タングを差し込む」
	バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は本製品は使用しない。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。参照 P82「アフターサービスについての連絡先」
横向きベッド時、お子さまの足が座面の先端からはみ出す場合。	横向きベッドでのご使用はできません。後向きは首すわりから13kg未満で、首がすわってからご使用できます。それまではご使用を一旦中止してください。
バックルにジュースやゴミなどが入ってタングが差し込めない。	修理対応が必要です。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。参照 P82「アフターサービスについての連絡先」

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
リクライニングが起こしにくい。	調節ベルトをゆるめてください。参照 P29「肩ハーネス位置の調節のしかた」

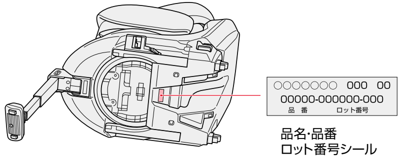
〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(**新規お買い上げ日より1年間です。**)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、本書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。
(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)
・リサイクルショップなど中古品については保証の対象外です。

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、
品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



品名・品番
ロット番号シール

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〈電話連絡先〉
ベビー用品 お客様サポートセンター　**TEL 0120－415－814**
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**
受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

MEMO